



上士幌小学校 (10/25) ▲劇「美女と野獣」(4年)



▲音楽「少年少女音楽隊」(5年)



上士幌保育所(11/10)

▲劇「ありときりぎりす」(ぞう組)

おたのしみがい

学習発表会



北門保育所 (11/15)

▲リズムあそび「しゅっぱ〜つ!」(園児全員)



北門小学校 (11/15)

▲劇「仮面ライダー彪希〜ヒーローの時給は800円」(全校児童)

「NPO法人ひがし大雪アーチ橋友の会」は、旧国

アーチ橋友の会へ道文化財保護功労賞

10月20日



役場周辺の道路工事を請け負った株式会社北海道ロードサービスは、子どもたちの交通事故防止のため、ほろんちゃんがデザインされた交通安全路面標示シートを寄贈しました。

札幌の建設会社が交通安全シート寄贈

10月15日

で、その縁で9月14、16日には被災地の方8名が本町を訪れ、会員と親睦を深めました。



「かみしほろ5000本のひまわりの会」が、東日本大震災の被災地支援のため、福島県いわき市などへ上士幌産のジャガイモを送りました。これは、平成24年から行っている活動で今年で3回目となります。ジャガイモは、支援活動に賛同した町内の農家から善意で提供されたもので、

地元産イモ被災地に〜ひまわりの会〜

10月2日

こだわりのピザとワインが自慢！「パピリカ」オープン

11月1日、本年8月まで地域おこし協力隊を務められた井上智彦さんが、11の1区の元和食レストラン「一善」跡地に、「ピザとワインの店 パピリカ」(☎2-4648)をオープンしました。地元産食材を使った窯焼きピザや防腐剤を使用していない自然派ワインなどが自慢です。ぜひご賞味ください。

10・11月のまちのわだい



「まちのわだい」のコーナーでは、みなさんからの楽しい話題や情報をお待ちしています。企画財政課情報交流担当 ☎2-2111 内線265 または E-Mail ☎ kikuzaiseika@town.kamishihoro.hokkaido.jp まで、お気軽にご連絡ください。



鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群の保存や利活用を通して地域づくりに貢献した功績が認められ、北海道文化財保護功労者（北海道文化財保護協会主催）に選ばれました。

10月20日、道庁赤レンガ庁舎にて「第50回北海道文化財保護功労者表彰式」が行われ、出席した那須襄太郎会長が表彰状を受け取りました。

10月21日～23日

第1回農村ホームステイ

大阪府立高石高等学校の2年生42名が、町内の農家

【まちなわだいの写真館】



第4回上士幌中学校吹奏楽部定期演奏会 (10/18)



第41回チャリティーダンスパーティー (10/19)



20世帯へホームステイを行いました。ホームステイは、修学旅行中に行われたもので、農作業を体験させることだけではなく、家族との触れ合いを通じて「食」などに愛着を持ってもらうことを目的としています。

受け入れ先の農家からは、「この体験を将来に役立ててほしい」「牛乳を飲んだ時や農作物を食べた時に上士幌町を思い出してほしい」と話されました。

また、生徒たちからは「家族の優しさや食べ物のおいしさに感動した」「また北海道に来たときは、第2の家族に会いに来たい」と話されていました。

10月27日

上中1年渡邊さん、走り幅跳びで全国へ



陸上の第45回ジュニアオリンピック大会(31日～11月2日・横浜市)の女子走り幅跳びに出場する渡邊夏鈴さんが役場を訪れ、竹中町長らに健闘を誓いました。

渡邊さんは「今シーズン積み重ねてきたことを生かして頑張りたいです」と大会の抱負を語ってくれました。

※なお、11月1日に行われた

決勝で渡邊さんは4m85cmを記録し、全国19位(北海道の出場選手中2位)という成績を残されました。



展示部門

平成26年度
町民文化祭
(11月1日～3日)



芸能部門
今年初登場! ヒップホップダンス
サークルZERO



民舞会



ペーパークラフト体験教室

地域を変えてく新しい力

地域おこし協力隊活動報告

TITLE: ふるさと納税を通じて

記: ふるさと納税推進員 尾田 絵理香



みなさんお久しぶりです。短い秋が終わり、朝晩の乾燥した冷たい空気に、長い冬の訪れを感じますね。

「ふるさと納税」について、今年度はありがたいことに日本全国より非常に多くのご寄付を頂いております。新聞や雑誌、TV放送などで上士幌町をたくさん紹介していただき、お問い合わせの電話が鳴りやまない日もありました。

ふるさと納税を通して初めて本町を知り「家族旅行で上士幌町を訪れてみたい」「将来は移住も考えています」といったうれしいお声も頂いており、中には実際に遊びに来られた方もいらっしゃいます。

本町では、寄付をしていただいた感謝の気持ちとして特産品を送付しています。上士幌ならではの希少な特産品を気に入っていただき「ありがとう」「おいしかったよ」といったメッセージをお手紙やお電話で数多く頂戴しています。

7月より、ふるさと納税に関する書類をお送りする封筒をリニューアルしました。熱気球やアーチ橋、東大雪の山々など本町の風景を盛り込んだオレンジ色(ほろんちゃんカラー)の封筒です。ゆるキャラの「ほろんちゃん」も封筒にデザインされ、上士幌町のPRの一翼を担ってくれています。



▲特産品を召し上がった寄付者からのお手紙



▲リニューアルしたふるさと納税の封筒

上士幌高校新聞局 通信 月刊 上高



▲真剣に講義を聞く1年生

10月23日(木)~24日(金)、1学年全員で上級学校訪問を行いました。上級学校訪問というのは、進路学習の一環で、各専門学校・大学に分かれ校舎を見学したり、実際に授業を受けたりして、進路実現の準備をするための行事です。

1B担任の古起快先生は「4月の宿泊研修の時より、場をわかまえることができるようになって、よりみんな真剣に参加してい

た。準備の段階から自主的に行っていて成長したと感じた。今回の経験を生かして、まずルールを守ることから始めてほしい。」と願いを込めて話してくれました。

実行委員長の酒井直輝(1B)君は「集団としての力がついた。宿泊研修のときより忘れ物・落し物が少なくなった。委員長としてみんなをまとめていくのが大変だった。来年は見学旅行があるので今年の経験を生かし、集団として当たり前のことをできるようにしたい。」と来年に向けて意気込みを話してくれました。

10月23日(木)~24日(金)
進路実現に向けて上級学校訪問

文責 木村 凌也

川柳

短歌

たくあんの水の上りや小雪舞う
 白銀の丘に降り立つ雪うさぎ
 ボクの牛みんなの体強くする
 積んだ薪くずれて顔が青タンに
 百年の歴史に祝いの花が咲く
 だいで豆刈り取り遅れはじけそう
 マネキンに似合った服買い後悔し
 赤い服着る日近づき母想う
 ほめられて自分の無能またも知る
 夏服をしまいそこねて雪が舞う
 暮れ迫りサイフの中身見てばかり
 古傷にふれられ不眠の夜が続く

手捻りの皿が良いと持ち行きし三男夫婦久々に来て
 暖房を入れて待ちたり手習ひの生徒の来たる時間の迫れば
 日通う施設の夫の見とりに外来制限の中押しゆくなりて
 夫の肩を揉みつつ施設の窓より青空の中白い月見ゆ
 とうとうと未明の冷氣かほを打つまなこ閉じろしわが顔のうへ
 庇より雨とめどなし曇りそら少し明るむ感じにみたり

坂田 真弓 誠也 高木 義美 小松 由希子 小池 喜代子 荻大 敦子 齊藤 昭次 丹後 若菜 波琉 花若 桜 馨

石川裕子
 高木慶子
 本間栞風

平成26年10月末現在の人口

男 2,384人(-9)

女 2,511人(-2)

人口 4,895人(-11)

世帯数 2,331世帯(-1)

平成26年度ふるさと納税寄付金

10月分 4,715件
 84,062,800円

累計 27,195件
 458,604,402円

※全国より本町に篤志寄付の応援をしていただき心より感謝を申し上げます。

上士幌町民憲章

- 1 心もからだもきたえ、すこやかな人にならしましょう。
- 1 おたがいに立場を理解しあい、楽しい家庭をつくりましょう。
- 1 きまりを正しく守り、明るい社会をつくりましょう。
- 1 自然を愛し、美しく住みよいまちにそだてましょう。
- 1 文化をたかめ、豊かな郷土を築きましょう。



◎上士幌小学校が開校100周年を迎え、記念式典・祝賀会が開催されました。私は記者兼卒業生として出席し、小学生時代を思い出しながら取材しました。◎取材中、世代は違って母校やふるさとを愛する気持ちは変わらないものだと感じました。上小のこれからの100年も楽しみです。…S

◎学習発表会や保育所おたのしみ会では、毎年、子どもたちが成長しているのがわかるので、楽しんで写真を撮っています。◎上士幌小学校では、全体合唱を除けば、1学年1演目です。演目時間は30分前後と長時間なのですが、それを演じ切る児童たちに驚かされ、演目ごとに感動させられます。町facebookやブログにも掲載していますので、ぜひ。…K

広報 **がみしほろ** 1月号は12月25日(木) 発行予定